

心の栄養剤No171 「運がいい人になるには」

舩岡はなえさんの「斎藤一人 人生ぜんぶハッピーラッキー」の中から、ひとつの面白いエピソードをご紹介します。

舩岡さんは、あるとき前から疑問に思っていたことを一人さんに尋ねます。それは、「すごくいい人で幸せだった人が、あるときから、幸せでなくなるのはなぜですか？」ということです。

一人さんは、「理由はひとつ、でも、この話を信じてくれる人は、10000人に1人もいればいいほうなんだよね」などと言って教えてくれます。なんだと思いますか？

「いい人で幸せだった人が、幸せでなくなるのは、自分が神様に愛されているって思っていないからなんだ。本当は、人はみな神様に愛されているのにね・・・」

普通の人には、何か問題があると、あれが悪い、これが悪い、と悲観的になりがちです。お前が悪い、あいつが悪い、と誰かを責めてしまいます。自分は不幸だなあ、運が悪いんだと思込みます。

でも、神様から愛されていると思っている人は、何か問題があっても、落ち込むほど悲観的にならないし、誰かを責めることもまずありません。もちろん、その人にも何らかの問題は必ず起こります。

ただ、それは神様からの試練だと受け止めるんですよね。それは、必ず乗り越えられるし、乗り越えれば必ずもっとよくなる。神様はそんな試練を与えてくれたんだって思うわけです。だって、神様から愛されているんですから・・・

神様が自分に嫌がらせをするわけがないんです。神様が自分を成長させてくれるために試練を与えてくださったのだから、むしろ感謝します。

さて、あなたも何かいま、問題をもっていますか？問題を持っていない人なんて普通いないと思います。ただ、その問題を「悪いものだ」とネガティブに考えているか、「その問題でよくなれるとポジティブに考えているか」の違いがあると思います。

繰り返しますが、「**自分は神様から愛されている、だからその与えられた問題を通してもっとよくなれる**」と考える人は、多少辛いことがあっても、自分は不幸だとか、運が悪いとは考えないんです。むしろ、神様から愛されている自分は、今もこれからもずっと運がいいんだと思っています。

あなたもぜひ、自分は神様から愛されていると感じられる、10000人に1人の人になって下さい。

一人さんが、舩岡はなえさんに教えた、運が良くなる言葉です。何か問題があったときは、この言葉を何度も唱えるといいそうです。

「これでよくなる。だからよくなる。さらによくなる。」

たったこれだけです。試してみるといいですよ。

「ありがとう」シリーズNo.12

私は福島県で東日本大震災を経験しました。震災以降、私の授業は変化しました。授業では、「ありがとう」の気持ちを大切にできるよう伝えています。

「ありがとう」の語源は、形容詞「有り難し」です。「有り難し」は「有ること」が「難しい」わけですから、「めったにない」「まれである」という意味を持っています。

このことから、「ありがとう」の反対は「いつもあること」、すなわち「当たり前」なのです。朝目覚めるのが当たり前、ものが見えるのが当たり前、立ち上がれるのが当たり前、声を出せるのが当たり前、ご飯を食べられるのが当たり前・・・など。しかし、世の中にはそれらが当たり前でない人たちも多くいます。

私たちの生活は常にたくさんの「当たり前」に囲まれています。そうになると感謝の気持ちも薄れてしまいます。しかし私は6年前、普段の「当たり前」が決して「当たり前」ではないと知りました。

普段当たり前のように使っていた電気が使えない、当たり前のように蛇口から出ていた水が出ない。そんな経験を通して、身の回りの有難さを実感することが出来ました。

「不自由さ」を経験して初めて、たくさんのものに「ありがとう」の気持ちが湧いてきたのです。家庭科の分野は「感謝」や「ありがとう」の連続です。衣・食・住、家庭生活、福祉、環境など、いろんな分野に「感謝」や「ありがとう」があります。震災以降、それを意識しながら授業をするようになりました。

男性家庭科教諭 末松 幸治

全ての人、物に起こりうるすべての現状、現実に感謝の気持ち「ありがとう」との想いを常に持てる人が神様から愛される人になるんだらうと確信します。

「ありがとう」と出来るだけ多く発する事に心掛けていると～不思議と多くの「ありがとう」と言われるようになり、神様から愛されてると感じられる10000人に1人になれるんだと思います。

「これでよくなる。だからよくなる。さらによくなる。」

「ありがとう～ありがとう」

これでいきましょう！！

